

# 競技に関する注意事項

第 69 回全日本中学校通信陸上競技大会 兼 第 50 回全日本中学校陸上競技選手権大会西三河予選会

## 1 感染拡大防止対策

1. 競技場、スタンド、芝スタンドへの入場は、下記の表の通りとする。

|       | 選手 | 競技役員          | 顧問・<br>チーム代表<br>(競技役員以外<br>1名のみ) | 保護者 |
|-------|----|---------------|----------------------------------|-----|
| 競技場内  | ○  | ○             | ×                                | ×   |
| スタンド  | ○  | ○<br>公認審判員証提示 | ○<br>リストバンド提示                    | ×   |
| 芝スタンド | ×  | ○             | ○                                | ○   |

※顧問・チーム代表者（1 団体 1 名）は学校受付時にリストバンドを受け取り、スタンド入場時に提示すること。学校受付終了後は本部でリストバンドを受け取ること。

※選手、顧問・チーム代表は 100m スタート側ゲートから、保護者はゴール側ゲートからのみの入場とする（別紙動線参照）。

2. 競技場への入退場は、すべて別紙の動線に従うこと。
3. 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座ること。
4. 手洗い、消毒の実施など、各自感染予防に努める。
5. 主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

## 2 競技会全般に関して

1. 本大会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。  
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに団体受付を済ませておく  
(受付がない場合、競技者は競技に出場できない。場所はメインスタンド外側の軒下付近とする。)
3. 招集所、招集時間について
  - (1)招集所は、メインスタンド外側の軒下付近で行う。
  - (2)招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。  
種目、組により招集開始時刻・招集完了時刻が異なるため、必ず確認をすること。
  - (3)招集が完了した後、トラック競技出場選手はスタート 10 分前にスタート地点、フィールド競技出場選手は招集完了後すぐに競技実施場所に集合し、最終点呼を受けること。
  - (4)リレーのオーダー用紙は、招集完了 60 分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に準備する。
4. ウォーミングアップについて
  - (1)朝の競技場内でのウォーミングアップについて、準備に支障のない範囲で行ってよいこととする。  
ただし、競技会 1 日目、2 日目ともに 9 時 15 分までとする。
  - (2)競技進行中の本競技場でのウォーミングアップは原則禁止する。芝生広場並びに競技場周辺を利用すること。ただし、一般の方の利用の妨げとなるような使い方は厳に慎むこと。
  - (3)芝生広場並びに競技場周辺では、スパイク・器具を使つてのウォーミングアップは行わないこと。
  - (4)リレー種目について、競技会 1 日目は男子 400m 終了後から 14 時 25 分まで、競技会 2 日目は男子 200m 決勝終了後から 15 時 00 分まで競技場内で練習を行うことを認める。

## 5. 施設設備の使用について

今大会では競技終了後の清掃当番がないので、必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。

## 6. 写真及びビデオ撮影について

- (1)個人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。
- (2)下記のエリアを撮影禁止とする。
  - ・各種目のスタート後方
  - ・跳躍種目の助走後方と着地前方
- (3)スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (4)他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

## 7. LIVE 配信について

今大会はYouTubeによるライブ配信を行わない。

## 3 競技に関して

### 1. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1)ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2)トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3)腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。

### 2. 競技について

- (1)トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2)競技者の変更は一切認めない。
- (3)使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールについては、各団体が準備したものを使用する。
- (4)全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。  
(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)
- (5)WA 規則第143条（TR5.2:競技用靴）のルールを適用する

| 種目                 | ソールの最大の厚さ | 補足  |
|--------------------|-----------|---|
| 800m未満のトラック種目      | 20mm      |   |
| 800m以上のトラック種目      | 25mm      |   |
| フィールド種目<br>(三段跳除く) | 20mm      | 競技者の前の部分の中心点のソールの厚さは、競技者のかかとの中心点のソールの厚さを越えてはならない。 |
| 三段跳                | 25mm      |   |

規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。

招集所にて、靴の確認を行う場合がある。

- (6)400mまでのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。

(7) 「0+16」の種目は、予選記録の上位8名でA決勝、9番目～16番目の8名でB決勝を行う。

※ いずれにおいても、A決勝進出者が決勝を棄権してもB決勝からA決勝への繰り上げは行わない。

(8) 低学年4×100mR (OP) のオーダーは、第1・4走者を2年生、第2・3走者を1年生とする。

(9) 低学年4×100mRと共通4×100mRを兼ねることは認めない(例：予選は共通4×100mRに出場し、決勝は低学年4×100mRリレーに出場することも不可)。

(10) ハードルの規格は以下の通りとする。

|         | 高さ     | 台数  | スタート～1台目 | ハードル間 | 10台目～フィニッシュ |
|---------|--------|-----|----------|-------|-------------|
| 男子110mH | 91.4cm | 10台 | 13.72m   | 9.14m | 14.02m      |
| 女子100mH | 76.2cm | 10台 | 13.00m   | 8.00m | 10.50m      |

(11) フィールド競技については以下の通り行う。

① 長さを競う種目の試技は3回の試技後、ベスト8を選出し残り3回の試技を行う。

② 走幅跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー2個までとする。

③ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

|       | 練習   | 1    | 2      | 3    | 4     | 5      |       |
|-------|------|------|--------|------|-------|--------|-------|
| 男子走高跳 | 1m45 | 1m50 | 1m55   | 1m60 | 1m65  | 1m70   | 以降3cm |
| 女子走高跳 | 1m30 | 1m35 | 1m40   | 1m45 | 以降3cm |        |       |
| 男子棒高跳 | —    | 2m00 | 2m20   | 2m40 | 2m60  | 以降10cm |       |
| 女子棒高跳 | —    | 1m80 | 以降10cm |      |       |        |       |

※ 男女棒高跳の練習の高さは定めず、選手の希望によって行う。

※ 天候その他特別な状況が生じた場合に限り、審判長の判断により変更されることがある。

④ 走高跳は、2ピット使用して行う。

⑤ 三段跳の踏切板は9mで行う。

⑥ 本大会では、コーチングエリアを設定しない。

(12) 記録の掲示はメインスタンド外側の軒下付近で行う。または、記録速報ページで記録を確認すること。ただし、記録速報ページについて、競技会終了後1週間をめどに削除する。上位者のアナウンス発表は行う。

(13) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。

(14) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。

警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

### 3. 表彰について

(1) 各種目の1～3位には賞状を授与する。

(2) A・B決勝を行う種目(3年100m・2年100m・200m・ハードル・4×100mR)は、A決勝進出者のみの対象とする。

(3) 本部前にて表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

### 4. 通信陸上競技愛知県大会への出場について

(1) 本大会で各種目4位(4名)までの入賞者及び2022年4月1日から申し込み前日までに通信陸上競技愛知県大会の標準記録突破者(公認記録に限る。追い風参考記録は認めない。)は通信陸上競技愛知県大会に出場することができる。ただし、通信陸上競技愛知県大会で実施される種目が対象となる。

(2) 通信陸上競技愛知県大会への申込は、愛知陸上競技協会HPを参照し、各校で申し込みを行う。

## 中学校通信陸上競技愛知県大会標準記録

公認記録に限る。追い風参考記録は認めない。

| 種 目        | 男 子                    | 女 子                    |
|------------|------------------------|------------------------|
| 1年 100m    | 13"20                  | 14"30                  |
| 2年 100m    | 12"20                  | 13"55                  |
| 3年 100m    | 11"80                  | 13"35                  |
| 共通 200m    | 24"20                  | 27"70                  |
| 共通 400m    | 55"00                  |                        |
| 共通 800m    | 2'09"50                | 2'27"50<br>※1年 2'35"00 |
| 共通 1500m   | 4'25"00<br>※1年 5'00"00 | 5'00"00                |
| 共通 3000m   | 9'40"00                |                        |
| 共通 100mH   |                        | 16"85                  |
| 共通 110mH   | 17"20                  |                        |
| 共通 4×100mR | 46"50                  | 52"90                  |
| 共通 走高跳     | 1 m 6 5                | 1 m 4 5                |
| 共通 棒高跳     | 3 m 2 0                | 2 m 2 0                |
| 共通 走幅跳     | 5 m 7 0                | 4 m 6 5                |
| 共通 砲丸投     | 9 m 3 0 (5.00kg)       | 9 m 5 0 (2.721kg)      |
| 共通 円盤投     | 2 3 m 0 0 (1.500kg)    | 1 9 m 0 0 (1.000kg)    |
| 共通 四種競技    | 1 7 0 0 点              | 1 8 0 0 点              |

※ リレーは、今年度学校に在籍している1～3年生のメンバーで出した記録であること。

※ 男子1年1500mと女子1年800mは今年度1年生が対象である。

### 4 その他

1. 選手出入り口はスタート側ゲートの一か所設置する。開門時刻は7時30分とする。
2. 競技場内の各団体の控え席や待機場所は、正面スタンド以外に100mスタート側の芝生スタンドに設置することを許可する。ただし、場所が限られているため、各団体が譲り合って使用すること。
3. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。
4. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、救護室（本部室北側の記録室）において処置を行う。  
なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
5. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。